

## PRESS RELEASE

## 京都の伝統工芸「京からかみ」×現代アーティスト Jaclyn Mednicov 100年の版木から生まれるコラボ作品を発表

### 5月19日に本人来場レセプション開催、限定作品を公開

株式会社丸二（京都市）は、京都の伝統工芸「唐紙」と、現代アーティスト Jaclyn Mednicov によるコラボレーション作品を発表いたします。

本コレクションは、100年以上受け継がれてきた版木と唐紙の伝統技法を用い、現代アートの感性と融合させたものです。

2026年5月19日（火）には、京都・京からかみ体験工房「唐丸」にて、アーティスト本人が来場するレセプションを開催し、限定作品を初公開いたします。



### コラボレーション概要

本企画は、日本の職人技と現代アートの融合を目的とし、CIPANGO社のサポートにより実現しました。作品は、伝統的な唐紙の手摺り技法をベースに、デジタルおよびアナログのプロセスを重ね合わせることで、伝統文様・現代的な構成・素材の質感が重なり合う新たな視覚表現が生まれました。

#### レセプション開催概要 ※予約不要

- 日時：2026年5月19日（火）17:00～19:00
- 会場：京からかみ体験工房 唐丸（京都市）
- 内容：作品展示／制作背景紹介／交流

Jaclyn Mednicov 本人が来場し、  
作品や制作プロセスについて直接お話しいただけます。

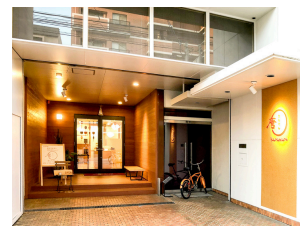
作品公開期間：2026年5月14日（木）～5月26日（火）

#### 京からかみの体験工房とショップ 唐丸

京都市下京区泉正寺町460  
075-361-1324

- ▼アクセス  
四条駅・烏丸駅  
徒歩 約7分

- ▼定休日  
水曜・日曜日



## 作品について

今回公開のコラボ作品は全5作品。すべて数量限定で一点一点手摺りで制作されています。



**蛍** 2026年

35×47cm

限定15部

初夏の光をテーマに、蛍の明滅を思わせる繊細な表現です



**秋草** 2026年

35×94cm

限定17部+AP1部

秋草のシルエットが、時の流れの中に宿る一瞬の美しさを表現しています



**夏の波** 2026年

61×45.7cm

限定15部

伝統的な光琳大波文様と金箔のきらめきが、夏の光を映し出します。



**八重桜と雲 1** 2026年

34.5×94cm

限定25部

流れる雲の文様の上に舞う八重桜。季節の移ろいを表現しています。



**八重桜と雲 2** 2026年

30.5×59.7cm

限定30部

八重桜と雲 1 の小型版。穏やかな静けさと時の流れを表現した作品です。

Jaclyn Mednicovとアーティスト仲間のBrian Andersonは、2019年、丸二の唐紙職人 工藤とのコラボレーションを始めました。手摺りされた伝統文様の上、あるいはその下に、デジタルとアナログのプロセスをどのように重ね合わせることができかを探求。継続的な試作を通じ、伝統を尊重しつつさらにその境界を広げる新たな視覚的な可能性を切り拓きました。そして本年、このからかみコラボシリーズとして結実しました。

## アーティスト・プロフィール



### Jaclyn Mednicov

ジャクリン・メドニコフ

シカゴを拠点に活動するアーティスト。絵画、版画、彫刻、インスタレーションなど多様な表現を手がけ、国際的な展示会やレジデンスに多数参加。作品は国内外のメディアでも多数紹介されています。



### Brian Anderson

ブライアン・アンダーソン

アーティスト/教育者  
デザイン・オブジェクトとライティングの分野で活動。イリノイ大学シカゴ校の准教授として、デザイン教育に携わる。日米の文化交流にも積極的に取り組んでいます。

## 協力・サポート



CIPANGO

### CIPANGO株式会社

日本の職人技と世界のラグジュアリービジネスとの橋渡しを行うコンサルティング企業。

伝統工芸の価値を世界に発信するプロジェクトをサポートしています。

## 唐紙について

京からかみは、約1,300年前に遣唐使が中国の唐から持ち帰った装飾紙をルーツとし、襖や空間装飾として京都で培われてきた伝統工芸です。

現在も100年以上前に彫られた版木が使われ、その技術は職人の手によって継承されています。壁紙や室内装飾デザインなど、多様な分野に用いられています。



## 株式会社丸二について



明治35年（1902年）創業。

昭和21年、表具師から材料卸に事業転換。京都の伝統工芸品「京からかみ」の自社工房を構え、唐紙の製造販売、工事施工を行っています。伝統工芸の魅力を体験できるショップ「唐丸」では、唐紙の技術や歴史に直接触れる機会を通じて、唐紙の実需拡大に努めています。

報道関係の方からのお問い合わせ先

## 株式会社丸二

担当：谷川 有紀

☎ 会社電話番号：075-361-1324

✉ メールアドレス：kamaru@kamaru.kyoto

🌐 <https://maruni-kyoto.co.jp>

<https://kamaru.kyoto>